

用 務：日本人口の動向，とくに死因別死亡の動向についての視察

連絡機関：日本ユネスコ国内委員会

○ Dr. Anibal del Campo

所 属：Prof. of Philosophy, Member of Unesco, National Commission, Rogue Graseras 611, Montevideo, Uruguay.

年 月 日：1963年2月22日

用 務：日本人口の動向，とくに死因別死亡の動向についての視察

連絡機関：日本ユネスコ国内委員会

(調査部資料科)

### 第 14 回 日 本 人 口 学 会 の 開 催

日本人口学会第14回総会ならびに研究発表会は，昭和37年5月17，18の両日日本大学経済・商学部新館において開催された。総会では任期満了による役員の変更が行なわれ，今期の役員として下記の諸氏が選出された。

会 長

永 井 亨

理 事 (○印は常務理事を示す)

林 恵 海                   ○古 屋 芳 雄                   小 山 栄 三                   ○水 島 治 夫

○森 田 優 三                   南 亮 三 郎                   永 井 亨                   岡 崎 文 規

曾 田 長 宗                   ○館 稔                   東 畑 精 一                   山 中 篤 太 郎

監 事

寺 尾 琢 磨                   美 濃 口 時 次 郎

研究発表会およびシンポジウムにおいて行なわれた報告題名および報告者をするすと次のごとくである。

第1日 (5月17日)

○研究発表

- |   |           |         |
|---|-----------|---------|
| 1. 韓国の人口増加について.....                             | 中 央 大 学   | 南 亮 三 郎 |
|   | 〃         | 石 南 国   |
| 2. アイルランド人口の一研究.....                            | 中 央 大 学   | 岡 田 実   |
| 3. 人口動態事象の発生から届出までの期間の観察と統計編整の<br>包括範囲について..... | 厚生省統計調査部  | 角 田 厲 作 |
| 4. 婚姻統計における届出と挙式のずれについて.....                    | 厚生省統計調査部  | 上 田 耕 三 |
|   | 〃         | 福 島 絢   |
|   | 〃         | 丸 山 てるみ |
| 5. 慢性疾患の人口学的，社会経済的特性に関する1つの仮設.....              | 人口問題研究所   | 黒 田 俊 夫 |
|   | 〃         | 荻 野 嶋 子 |
| 6. 明治36年以降府県別死亡構造の動向.....                       | 久 留 米 大 学 | 安 倍 弘 毅 |
|   | 〃         | 矢 野 邦 夫 |
| 7. 日本における最近の死亡率減少のリタルディション現象.....               | 国立公衆衛生院   | 曾 田 長 宗 |
|   | 〃         | 平 山 雄   |
|   | 〃         | 木 村 正 文 |
|   | 厚生省統計調査部  | 角 田 厲 作 |

8. 出生力調査方法論——一つの提案——……人口問題研究所 黒田俊夫  
毎日新聞社 野田 実
9. わが国1890～1920年の出生数と総出生率 (General Fertility Rate) の推計——『人口転換』法則との関連によせて——……慶応義塾大学 安川正彬
10. 戦後農村出生力の低下形態……人口問題研究所 皆川勇一
11. 差別出生力に関する一研究……人口問題研究所 黒田俊夫
- シンポジウム
1. 人工妊娠中絶防止の再検討……座長……日本家族計画連盟 古屋芳雄  
人口問題研究所 篠崎信男  
国立公衆衛生院 久保秀史  
東京大学 森山 豊  
都立墨東病院 吉沢嘉夫

第2日 (5月18日)

○研究発表

12. 人口移動法則300年——Graunt 初版発行300年を記念して……人口問題研究所 館 稔  
〃 小山美紗子
13. 家族経済から見た人口移動の経済的ポテンシャル……お茶の水女子大学 伊藤秋子
14. 館博士の「人口移動ポテンシャル」に関する理論的コメント……一橋大学 南 亮進  
神奈川大学 小野 旭
15. わが国の地域的人口変動の形式人口学的研究……法政大学 鈴木啓祐
16. 人口の「地域流動表」とその利用について……人口問題研究所 岡崎陽一
17. Economic Take-Off の人口要因——マルサスの均衡の安定性……一橋大学 南 亮進
18. 労働力人口の将来推計について……人口問題研究所 浜 英彦
19. 1930年、1955年職業別人口の比較について  
——1930年国勢調査職業別人口の暫定的組み替え……人口問題研究所 小林和正
20. 初期生産年齢人口を中心としてみた差別移動に関する研究……人口問題研究所 上田正夫

○シンポジウム

2. 大都市人口をめぐる諸問題……座長……慶応義塾大学 寺尾琢磨
- (1) 人口学的側面……人口問題研究所 浜 英彦
- (2) 経済および財政学的側面……東京都立大学 柴田徳衛
- (3) 社会学的側面一般……東京教育大学 安田三郎
- (4) 社会生態学的側面……慶応義塾大学 矢崎武夫
- (5) 社会心理学的側面……法務総合研究所 橋本重三郎
- (6) 精神医学的側面……東京大学 井上英二
- (7) フィジカル・プランニングの側面……東京大学 高山英華

(調査部資料科)

#### 第4回日本老年社会科学会総会の開催

昭和37年11月3日および4日の両日、日本都市センターにおいて第4回日本老年社会科学会総会が開催された(大会会長 館 稔博士)。両日とも、一般研究報告のほか特別講演ならびにシンポジウムが行なわれたが、実施されたプログラムの詳細は下記のとおりである。